

日本語教師研修

「日本語教育の参照枠」を理解した上で、
自らの実践を振り返り、より良い実践をめざして
仲間とともに成長することができる日本語教師育成を目指す研修です。

- ・「基礎編」は2回連続で設置し、オンライン授業に初めて取り組む日本語教師も、楽しみながらオンライン授業が始められるように支援します。
- ・「理論・実践編」は5回連続で設置。事例をもとにそれぞれの現場での活用法について考えます。
- ・参加者間での「学び合い」を大切にした研修内容とします。
- ・学校を越えた「つながり」を重視し、研修会終了後は<日本語教師ネットワーク>を作ります。

日本語教師研修 一覧表(全7回)

No.			実施日	講師
1	基礎編	オンライン会議ツールを利用した授業に挑戦! ～あなたのお悩み解決します～	6月24日(金) 19時30分～21時	寺浦久仁香 (イーストウエスト日本語学校)
2		オンライン授業のステップアップをめざす! ～授業に役立つアイデア探し～	7月 1日(金) 19時30分～21時	
3	理論編	「日本語教育の参照枠」を理解する	7月16日(土) 10時30分～12時	松井孝浩 (文化庁)
4	実践編	「日本語教育の参照枠」を現場に活かす ～カリキュラムの見直し～	7月22日(金) 19時30分～21時	鎌田亜紀子・水井佑美 (友国際文化学院)
5		多様な評価方法を現場で活用する ～学びを支援する評価とは～	7月29日(金) 19時30分～21時	伊東祐郎 (国際教養大学)
6		多様性に対応できる教師力を身につける ～求められる教師の資質・能力とは～	8月 6日(土) 10時30分～12時	嶋田和子 (アクラス日本語教育研究所)
7		オンライン授業の活かし方を考える ～立体的な授業をつくるために～	8月20日(土) 10時30～12時	伊藤秀明 (筑波大学)
特別講演	タイトル・詳細は後日お知らせします		8月下旬～9月	金谷俊一郎(東進ハイスクール)

基礎編（第1、2回連続講座）

オンライン授業をこれから始めたい・始めたばかり、という教師のみなさん！
今よりも、よりよいオンライン授業をしたい、と思っている教師のみなさん！

オンライン授業の基本的な方法を知り、より良い実践が実現できる力を一緒に身につけませんか！！

第1回

オンライン会議ツールを利用した授業に挑戦！
～あなたのお悩み解決します～

■開催日 : 6月24日(金) 19:30~21:00

■開催方法: オンライン(ZOOM)

※一緒にお悩みを解決しましょう!!

終了後も、ご相談がある場合は、ご質問いただけます。申し込みをされた方にZOOMとパワーポイントの基本操作の説明動画をお渡し致します。お渡しした動画は日本語学校での学内勉強会等にご活用いただけます。

第2回

オンライン授業のステップアップを目指す
～授業に役立つアイデア探し～

■開催日 : 7月1日(金) 19:30~21:00

■開催方法: オンライン(ZOOM)

※第1回では扱わなかったパドレットやGoogleフォームなどを実際に体験してみましょう。ワクワクするようなオンライン授業のヒントや、授業に役立つアイデアを一緒に探していきましょう!学校を超えたつながりの場を作ります。

■講師 : 寺浦久仁香(イーストウエスト日本語学校)

■募集人数 : 20名(第1回、第2回セット) 応募者多数の場合は抽選にて決めさせていただきます。
学校単位の申し込みです。1校につき2名までの申し込みとなります。

■応募方法 : 専用ホームページにてご確認ください。

理論編(第3回)

- 講師 :文化庁 国語課 松井 孝浩
- 開催方法 :オンライン(ZOOM)
- 応募方法 :理論・実践編(第3~7回)は連続講座です。実践編(第4~7回)参照。

【目的】

- ①欧州、日本の言語教育に関する諸施策の背景を知り、「日本語教育の参照枠」が取りまとめられた経緯を理解する。
- ②「日本語教育の参照枠」の理念と言語教育観、具体的な内容を理解する。
- ③「日本語教育の参照枠」のレベル尺度の特徴と言語能力記述文(Can do)の種類、構造を理解する。
- ④Can doベースのカリキュラムの事例について理解する。
- ⑤「日本語教育の参照枠」に基づく評価の方法について理解する。

【事前課題】

令和3年度「文化庁日本語教育大会」(WEB大会):

上記サイトの中のうち

- 施策説明 文化庁における日本語教育施策について(7分29秒)
- 「日本語教育の参照枠」について(13分13秒)

資料

- 「日本語教育の参照枠」(報告)(令和3年10月12日)(6.5MB)
- 「日本語教育の参照枠」の活用のための手引(令和4年2月18日)(9.6MB)

実践編（連続講座）

第3回の理論編「日本語教育の参照枠を理解する」で得た知識をもとに、
教師として自らの実践を振り返り、より広い視野で実践に取り組む力を修得しましょう！
研修会での「学び合い」を通して、研修会終了後も持続可能なネットワークを準備しています！

第4回

「日本語教育の参照枠」を現場に活かす
～カリキュラムの見直し～

- 開催日 : 7月22日(金) 19:30~21:00
- 講師 : 鎌田亜紀子・水井佑美(友国際文化学院)

第5回

多様な評価方法を現場で活用する
～学びを支援する評価とは～

- 開催日 : 7月29日(金) 19:30~21:00
- 講師 : 伊東祐郎(国際教養大学)

第6回

多様性に対応できる教師力を身につける
～求められる教師の資質・能力とは～

- 開催日 : 8月6日(土) 10:30~12:00
- 講師 : 嶋田和子(アクラス日本語教育研究所)

第7回

オンライン授業の活かし方を考える
～立体的な授業をつくるために～

- 開催日 : 8月20日(土) 10:30~12:00
- 講師 : 伊藤秀明(筑波大学)

- 開催方法 : オンライン(ZOOM)
- 募集人数 : 30名(第3~7回連続) 応募者多数の場合は抽選にて決めさせていただきます。
学校単位の申し込みです。1校につき2名までの申し込みとなります。
- 応募方法 : 開催約1ヶ月前に、専用ホームページにてご確認ください。